

ドネペジル塩酸塩錠・
OD錠「DSEP」を服用される方と
ご家族・介護者の方へ
＜レビー小体型認知症＞



第一三共エスファ株式会社

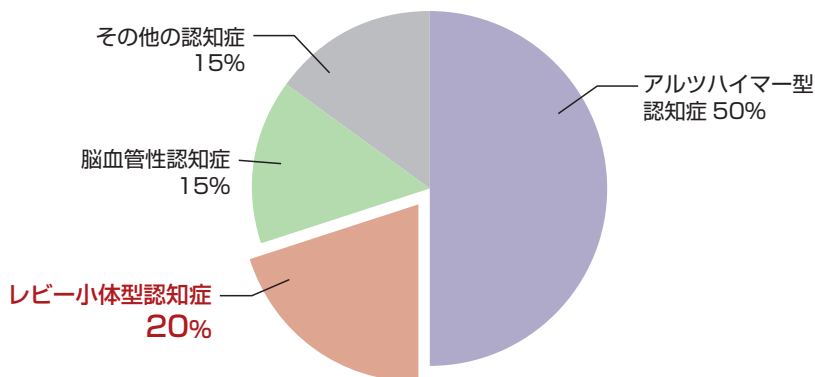


レビー小体型認知症とは？

三大認知症の1つです。

三大認知症にはアルツハイマー型、レビー小体型、脳血管性があります。

レビー小体型認知症の発症割合はアルツハイマー型認知症に次いで2番目に多いという報告があります。



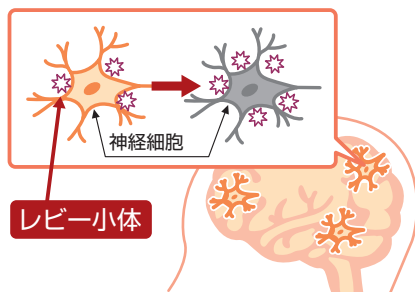
レビー小体型認知症サポートネットワークホームページより作成
http://dlbsn.org/what_dlb.html
(2023年4月閲覧)

レビー小体型認知症は、英語で「Dementia with Lewy Bodies」といい、略してDLBと呼ばれます。

脳の中に「**レビー小体**」という物質がみられ、
その結果、**認知症が現れます。**

「レビー小体」という特殊なたんぱく質が、神経細胞に現れる病気を「**レビー小体病**」といいます。

この「**レビー小体**」が**大脳や脳幹**に広く現れ、多彩な認知機能障害を起こすものを**レビー小体型認知症**といいます。





レビー小体型認知症の症状の特徴とは？

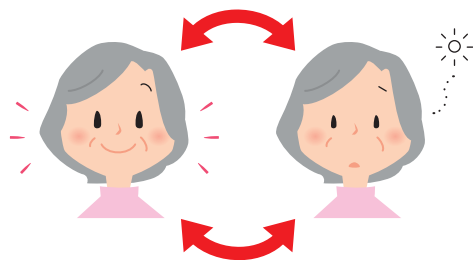


認知機能障害

時間や場所がわからなくなる、物事を思い出せなくなる・覚えられなくなる、会話した際の理解が難しくなる・判断することが難しくなるなどの症状が現れます。いわゆる認知症の症状です。

認知機能の変動

一日の中でも時間帯によって、頭がはっきりして調子が良い時と、ぼーっとして認知機能が障害されている時が入れ替わり現れ、その差が目立つようになります。



げんし 幻視

実際には存在しないものが本人にははっきりと見える症状です。動物や昆虫、知らない人がいるなど、具体的なものが見えます。

そのため、動物を追い払おうと大声を出したり幻視で見た人に話しかけていることもあります。

パーキンソン症状

手が震える、動作が遅くなる、無表情、筋肉のこわばり、小刻みに歩く、転びやすいなどのパーキンソン症状が現れます。



睡眠時（レム睡眠）の異常行動

寝ている時に大声で叫ぶ、怒鳴る、奇声をあげる、暴れるなどが現れます。

からだは寝ていますが、脳が活動している、いわゆる夢を見ていることの多い「レム睡眠」中に現れやすいため、「レム睡眠行動障害」ともいいます。

自律神経症状

血圧や体温、内臓の動きを調整する自律神経がうまく働かず、立ちくらみ、便秘、汗や寝汗がたくさん出る、頻回に尿が出る、だるさなどの身体的にさまざまな不調が現れます。



抑うつ症状

気分が沈む、悲しくなる、意欲が低下するなど、いわゆる「うつ」の症状が現れます。



ドネペジル塩酸塩錠・ OD錠「DSEP」とはどんなお薬？

レビー小体型認知症で見られる認知機能の障害を改善したり、
症状が進行するのを遅らせるお薬です。

症状は変わらなくても、何も治療しない場合より、症状の進行を遅らせると考えられます。また、レビー小体型認知症の認知機能障害にみられる「注意力の低下」を改善し、注意力や覚醒の変動などを少なくするといわれています。

ドネペジル塩酸塩錠「DSEP」

錠剤は実物大です。

ドネペジル塩酸塩錠3mg「DSEP」



ドネペジル塩酸塩錠5mg「DSEP」

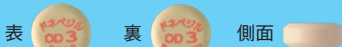


ドネペジル塩酸塩錠10mg「DSEP」



ドネペジル塩酸塩OD錠「DSEP」

ドネペジル塩酸塩OD錠3mg「DSEP」



ドネペジル塩酸塩OD錠5mg「DSEP」



ドネペジル塩酸塩OD錠10mg「DSEP」





ドネペジル塩酸塩錠・ OD錠「DSEP」の服用方法について

ドネペジル塩酸塩錠・OD錠「DSEP」は症状に合わせて適切な量を服用いただくことが大切です。主治医の指示に従って、決められた量を服用してください。

ドネペジル塩酸塩錠「DSEP」やドネペジル塩酸塩OD錠「DSEP」（口の中で崩れるタイプの錠剤）は3mg（黄色の錠剤）から開始し、1～2週間後に5mg（白色の錠剤）の服用になります。5mgで4週間以上経過後、10mgまで増量します。[お薬の量を3mgからはじめるのは、お薬を体に徐々に慣れさせていくためです。]

最初の1～2週間は
3mgを服用します。
(1日1回)



その後**5mg**を
服用します。
(1日1回)



5mgを4週間以上継続した
後で、**10mg**に増量します。
(1日1回)

- このお薬は1日1回服用してください。
- 飲み忘れても、次の日に2日分を一度に服用しないでください。
- 誤って多く飲んでしまった場合は直ちに主治医または薬剤師にご相談ください。
- 主治医の指示なしに、服用量を変更、中止しないでください。

<OD錠>

- このお薬は、口の中で溶かして飲む薬です。舌の上で唾液を含ませ舌で軽くつぶして、唾液で飲み込みます。唾液だけでは飲み込めない場合は、コップ1杯の水またはぬるま湯で飲み込んでください。
- 寝たままの状態では水またはぬるま湯と一緒に飲んでください。



お薬の保存について

シートの場合

お薬はシートのまま保存し、飲む直前に取り出してください。

お薬はシートから取り出してお飲みください。

1回分ずつのお薬がまとめられている場合

直射日光などの強い光が当たる場所や湿気の多いところで長時間保存しないでください。できるだけ紙袋、箱、缶などに入れて保存してください。



服用中に気をつけていただくこと

このような症状に気づいたら、主治医または薬剤師にご相談ください。

- 軽い吐き気や食欲不振、便が軟らかくなることがあります。
- パーキンソン症状が悪くなることがあります。
- 発疹、かゆみ、腹痛、興奮、不穏（落ち着かないこと）、不眠、徘徊（あてもなく歩き回る）が現れることがあります。



まれに下記のような症状が現れた場合、重大な副作用の初期症状の可能性がありますので、服用をやめ、すぐに主治医の診療を受けてください。

- 失神、胸痛、呼吸困難
- 胸痛、圧迫感、冷汗
- 胸やけや腹痛、黒色便や血便、発熱
- 吐き気や嘔吐、食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる
- 高熱、筋肉のこわばり、意識がもうろうとする



上記以外でも気になる症状が出た場合には、
主治医または薬剤師にご相談ください。



生活上で注意していただきたいこと

転倒に注意しましょう！

レビー小体型認知症では、からだのバランスを保つことが難しく、歩行が小刻みになるパーキンソン症状が出てきますので、つまずきやすくなったり、転びやすくなります。また、起き上がったたり、立ち上がった際、ふらつき、めまい、倒れる、気を失うなどの危険があります。

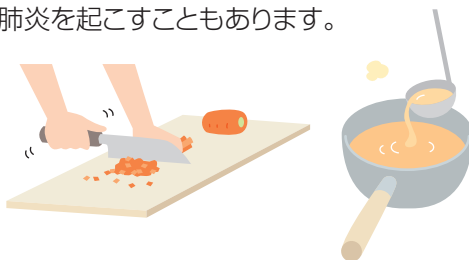


- 家の中を整理し、滑りやすいもの、つまずきやすいものをなくすようにしましょう。
- 椅子からの立ち上がりや階段では手すりなどを利用し、声かけや見守りをするようにしましょう。
- 声かけは正面から表情を見ながら行うようにしましょう。
- 外出時の服装も気を配り、ズボンの裾は短めにする、靴を履く、両手が使えるリュックサックを使用するようにしましょう。

食べ物などが飲み込みにくくなりますので、注意しましょう！

症状の進行により、飲み込む機能が衰え、唾液、食べ物、飲み物などが気管に入ってしまう誤嚥^{ごえん}を起こすことがあり、肺炎を起こすこともあります。

- 食事の時は、前かがみ姿勢をとるようにして、見守りをするようにしましょう。
- 食事は、細かく刻む、トロミをつけるなどの工夫をしましょう。
- 口の中の清潔を保ち、乾燥しないよう水分を取るよう心がけましょう。



連絡先（医療機関名）



第一三共エスファ株式会社

EPDON1P01501-1

2023年5月作成